

小学校・第5学年・算数科・円グラフや帯グラフ

北海道提供

育成を目指す資質・能力

資料をもとに、目的に応じたグラフを選択し、特徴などを考えることができる。

ICT活用のポイント

表計算ソフトを活用することで、多様なグラフを繰り返し作成することができるほか、資料を共有することで、他者の考えから学びを深めることができる。

事例の概要

【導入】 問題及び課題の確認

児童が、学習支援ソフトにアクセスし、「好きなスポーツ調べ」に関する表計算ソフトの内容からどのようなことを読み取れるか考える。

【展開】 グラフの作成及び交流

【終末】 本時の振り返り

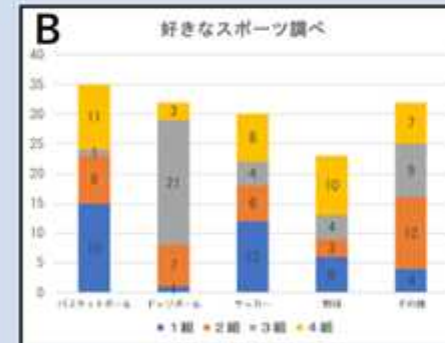
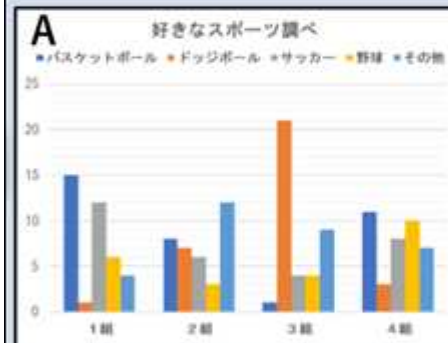
児童が、学習支援ソフトを活用して本時のまとめや、分かったことを入力する。



「好きなスポーツ調べ」に関する表計算ソフトの内容をもとに、グラフを作成する。



同じ目的のグループで、作成したグラフから分かる特徴を説明し合い、より適切なグラフを選ぶ。



プロジェクト等で、作成したグラフを投影し、考えを説明するとともに、それぞれの考えがグラフのよさを十分に生かしているか話し合う。



私たちのグループは、学年で一番人気のあるスポーツを調べるために、種目ごとに各クラスの合計人数が整理されているグラフ（B）を作成しました。

クラウド

各クラスごとに（A）どのスポーツが一番人気があるのかをはっきり表したいな。

ここで評価

【思】目的に応じて適切なグラフを選択し、特徴や傾向を説明している。

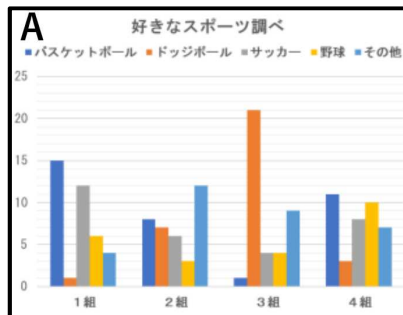
学年で一番人気のあるスポーツを表すには、AとBのどちらのグラフがよいのかな。

種目ごとに合計が整理されているから、どの種目が人気があるのか一目で分かるね。

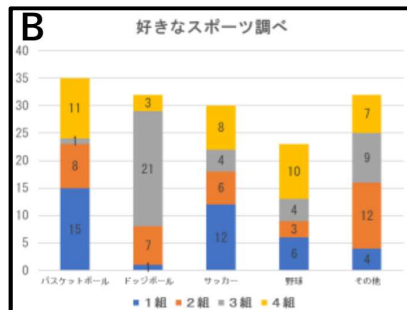
小学校・第5学年・算数科・円グラフや帯グラフ

【事例におけるICT活用場面】

好きなスポーツ調べ (人)				
	1組	2組	3組	4組
バスケットボール	15	8	1	11
ドッジボール	1	7	21	3
サッカー	12	6	4	8
野球	6	3	4	10
その他	4	12	9	7
合計	38	36	39	39



各クラスで人気のあるスポーツは何か



学年で1番人気のあるスポーツは何か

○ 学習過程と事例におけるICT活用場面との関係

- ・児童の好きなスポーツについて、整理したデータの特徴や傾向を考える過程で、的確に特徴や傾向を読み取ることができるよう、児童が表計算ソフトを活用して、目的に応じたグラフを作成する場面を位置付けるとともに、本時の振り返りにおいて、児童一人一人の学びの状況を把握するために学習支援ソフトを活用した振り返りの場面を位置付ける。

○ ICTを効果的に活用するためのポイント

- ・「好きなスポーツ調べ」の表について、特徴や傾向を読み取る場面を位置付け、グラフを作成するよさを実感させる。
- ・児童一人一人が分析する時間を確保する。
- ・必要なデータを入力した表計算ソフトを活用し、同じ目的でグラフを作成した児童でグループを構成し、グラフの特徴や傾向を説明し合い、目的に合ったグラフを選択させる。

○ 児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット

- ・児童は、時間をかけずに表やグラフを作成することができ、表やグラフを活用して調査結果を考察する時間を生み出すことができる。
- ・教師は、教材準備の時間を短縮することができ、授業の展開を考える時間を確保することができる。

【活用したソフトや機能】 表計算ソフト、学習支援ソフト